

## 「多文化共生フォーラム」に参加して

7月17日に本研究科201教室で名古屋多文化共生研究会主催のフォーラムが開催された。法人化に向けた中期計画づくりの中で、研究所を設置しようという機運が高まり、その参考にしようと考えて参加した。研究会代表の村井教授の薦めもあって、研究科を代表して挨拶させていただいた。以下、その「挨拶文」を載せておくことにする。

「今回のフォーラムの会場であります名古屋市立大学人間文化研究科を代表して、一言ご挨拶させていただきます。

国連開発計画の2004年版の『人間開発報告書』は、「多様な世界における文化的自由」というテーマと聞いています。「文化の多様性」「多文化社会」「共生」などが報告書のポイントといわれ、本日の「多文化共生フォーラム」の趣旨と重なるところも多いと思います。

さて人間文化研究科は、設立から今年で5年目の完成年度を迎え、新たな展開を模索しているところです。大学院と学部の教育研究をさらに発展させ、共同研究プロジェクトを推進するために、仮称ですが「人間文化研究所」を設置しようと動きはじめ、設立準備委員会を立ち上げました。この研究所では「人間・地域・共生」をキーワードに共同研究を進めていきますが、さしあたり「共生」に焦点をあててプロジェクトを推進する方向です。



本日の「多文化共生フォーラム」は、まさに私たちの研究所がめざす方向と重なるところが多く、私も楽しみにしていました。昨日、『多文化共生研究年報』を読ませていただき、たいへん参考になりました。これから基調講演や報告をお聞きして、研究所の設立構想に役立てていきたいと考えています。

また、私たちの研究所の設立(財政事情などから設立は容易ではありませんが)に当たっては、本日のフォーラムの主催者の「名古屋多文化共生研究会」の皆さん、ならびに報告者や参加者の皆さんのご協力が欠かせません。

勝手ながら、研究所設立のご案内とご協力をお願いして、私の挨拶とさせていただきます。」

(7月17日 記)